

第2次平戸市総合計画

第1回

豊かで伸びゆくまちづくり部会

議 事 録

と き：平成29年11月20日（月）13：30～15：50

と ころ：平戸市未来創造館 1階ホール

開催日時	平成 29 年 11 月 20 日 (月) 13 : 30～15 : 50
開催場所	平戸市未来創造館 1 階ホール
出席委員 (50 音順、敬称略)	久原鐵男、滝 友則、藤澤美好、松山芳弘、吉福弘実 (5 名)
欠席委員 (50 音順、敬称略)	橋口和久、吉居辰美 (2 名)
事務局 (財務部企画財政課)	小出企画財政課長、藤山企画統計班長、山口企画統計班主査 前半 : (農林課)川内課長、(水産課)下川課長、(商工物産課)村田課長 後半 : (観光課)里村班長、(文化交流課)野口課長
次第	進行 : 藤山
1. 開 会	
2. 企画財政課長 あいさつ	小出企画財政課長
3. 部会長の選任 について	吉福弘実委員を部会長として選任。
4. 議 題 (1)第 1 回審議会 からの経過報告	(事務局から説明) 質疑・意見等無し
(2)第 2 次平戸市 総合計画の基本 計画 (案) につ いて ①基本プロジェ クト 1 しご とをひろげる プロジェクト 委 員	(事務局から基本プロジェクト 1 の説明) 総合戦略の会議とこの会議は、違いがあるのか。

事務局	<p>総合戦略は、平成 31 年度までの 5 年間の人口減少対策として策定しているが、今回策定する総合計画は総合戦略を包含した形で作りこもうとしているので、重複する部分はあるものの別のものと考えていただきたい。総合戦略の数値目標は平成 31 年度までだが、総合計画では平成 34, 39 年度としている。</p>
委員	<p>指標の目標年度は平成 39 年度となっているが、この基本計画は 5 年ではないのか。</p>
事務局	<p>今回の総合計画の基本計画は、前期と後期に分けて策定するようしており、今回は前期計画を策定するが、数値の目標としては平成 39 年度とし、その中で前期において何をするか、という作りにさせていただいている。</p>
委員	<p>数値目標は単年度の数値なのか。</p>
事務局	<p>指標によって、単年度と累計の両方がある。</p>
委員	<p>表示を工夫して、どちらの数字なのか分かるようにしてもらいたい。</p>
委員	<p>資料 1 の「平戸市のいま」の文章に、「少ないながらも」という文言はいかがなものかと思うが。削除したほうがいいのではないか。</p>
事務局	<p>ご意見に従いたいと思う。</p>
委員	<p>農業関係で一番の問題点として存在する「遊休農地対策」がどこにも書かれていない。</p>
事務局	<p>「遊休農地」や「耕作放棄地」などの文言は明記していないが、資料</p>

	<p>1の「基本施策1 次代につながる農林畜産業を振興する」のうち、「施策4 生産基盤を整備する」の主な取組みに「担い手への農地の集積と集約化」を掲げており、この中で使える農地をしっかりと担い手に集約して作業効率を高めていこうということで書かせてもらっている。</p>
委員	<p>遊休農地が多いという状況は、対策そのものを打ち出すべきではないか。具体的な目標を持って取り組むべきと考えるので、検討いただきたい。</p>
事務局	<p>施策4に、「遊休農地」「耕作放棄地」の文言を入れるように検討したい。</p>
委員	<p>資料3の「平戸市のいま」に書かれてある「産業構造の割合」とは、全国なのか平戸市のことなのかどちらなのか。というのは、通常、商業は卸小売業と言うが、平戸市では卸売がほとんど無いなか、文章では「卸売業、小売業」となっているので、確認したい。また、やるばい指標では「卸売・小売」となっているが、産業分類でいうならば「卸小売」となるので、そこの整理をお願いしたい。</p> <p>また、資料3の一番下の主な取組みで、「③商工会議所・商工会等との連携強化」「④経営診断、経営指導の充実」とあるが、④は商工会議所や会議所がやっていることであるので、一つにまとめてもいいのではないかと思う。</p> <p>同じく資料3の施策2の「④地元高校生を対象とした地場企業見学会の開催」について、市内は3つの高校があるが、平戸高校と北松農業高校は就職する率が高いが、猶興館高校は進学校という位置づけになっていると思う。ただ、地元就職したい子どもや、就職させたい親がいると思うので、猶興館高校は進学校となっているであろうがここには地元3校と表現したほうがよいと思う。</p> <p>次に資料5の「施策2 地域資源を活かした創業支援を推進する」の「③6次産業化のための新商品開発支援」だが、6次産業として私が認</p>

	<p>識しているのは、第一次産業である農漁業者が中心となってやっていく事業である。同じように、農商工連携事業というのがあるが、これは商業者が中心となっている事業である。③は、技術的にタッグを組んでやっていかないといけないのだが、創業者が中心になるのか、農漁業者が中心になるのかで名称が違ってくるので、③は農業・漁業の計画のほうに入れていたほうがよいと思う。ここに入れるのであれば、農商工連携ということになるので、そこの整理をお願いしたい。</p> <p>最後だが、ふるさと納税に関する記載が無い。今後どのようにふるさと納税を推進していくのか、ブランド化と産品開発にも関わってくるが、やはり関心が高い項目でもあるので、どこかに記載をお願いしたい。</p>
部会長	<p>たくさんご意見をいただいたが、全てが今日決定できない部分もあるかと思うので、検討課題ということで、事務局としてしっかりと対応し、次回までに整理してもらいたい。</p>
委 員	<p>まず一点は、さきほどの遊休農地対策の明記については、私も同感である。遊休農地の対策は、プロジェクト5の観光にも関わってくる。観光客の方々がドライブや歩いたりしているとき、「この農地は使われていないな」というのを見ると、外部の人間であっても寂しくなってしまうものである。そういう面において、遊休農地への対策は重要だと思う。</p> <p>あと一点は、資料2と資料3の「みんなにできること」であるが、資料2では「地元産の魚介類を積極的に消費しましょう。」で、「積極的に」という言葉が使われている。一方、資料3では「衣食住など生活に必要なものは全て市内で購入し、市内消費に努めましょう。」と、「全て」という言葉が使われているが、この表現で大丈夫なのかと感じる。私も、お金は地元で回るのがよいとは考えているが、その考えでいくなればお金を全て地元で使うというのは同感だが、ただ全てを地元で、というのはどうかと思う。この計画は、最終的には市民の方々に読んでい</p>

	<p>ただいて、「こういう風にしないといけないよね」と思ってもらうことが重要なので、そういう意味では「全て」という表現でいいのかもしれないが、私はどうかと思う。</p>
部会長	<p>今の件についても、検討していただきたい。</p>
委員	<p>資料2の施策の3で「漁協職員の人材確保」という文言について、商工会など他の組織から不公平だと言われそうだが、この表現はいいのかと感じた。</p>
事務局	<p>漁協の場合、他の組織よりも離職者が多いということがあり、仕事によっては肉体的にハードな部分もああって辞めていくということを聞いている。他の団体ではそのような話はあまり聞いたことがないが、漁協に関してはそういった現状があり、水産業に力を入れるという気持ちも込めて書かせてもらっている。表現については次回までに検討する。</p>
委員	<p>特化した表現はしないほうがいいと思う。</p>
委員	<p>「漁協」という表現ではなく、これから先人材確保が大変になると思うので、商工業含めて全体に当てはまるような文言を使ってはどうか。</p>
部会長	<p>文言が独り歩きしてもいけないので、慎重に検討してもらいたい。</p>
事務局	<p>資料1の施策4の文章に、「廃菌床・廃ホダ木を活用した」とあるが、本市では廃ホダ木を使った生産が無く、今後も予定がないため、「・廃ホダ木」を削除させていただきたい。</p>
部会長	<p>では、ここで休憩に入らせていただく。</p>

<p>②基本プロジェクト5 たか らをみせるプ ロジェクト</p>	<p>(事務局から基本プロジェクト1の説明)</p>
<p>委員</p>	<p>日帰り観光客数の数値の出し方はどのようにしているのか。</p>
<p>事務局</p>	<p>平戸大橋に機械を設置しており、ナンバーを読み込み、ナンバープレートを判別して計算している。</p>
<p>委員</p>	<p>HPアクセスは単位が「人」となっているが「件」ではないのか。</p>
<p>事務局</p>	<p>おっしゃるとおり「件」なので修正する。</p>
<p>委員</p>	<p>観光の重点施策を見てみると、いずれかに当てはまるように書かれており、立派にできていると思う。</p> <p>以前に他の委員がおっしゃっていたが、平戸の商店街のトイレ清掃が悪いか、浄化槽が無いところがある。合併浄化槽の推進を商店街にも図るなどの取り組みを行ったほうがよいと考える。</p> <p>また、資料8の「そこそこ観光を脱却する」という表現が、中身はいいもののこれでいいのかと思ったのだが、これはどういう意味なのか。違う言葉に変えられないのか。</p>
<p>事務局</p>	<p>今回、あえて「そこそこ観光を脱却する」という言葉で入れさせてもらっている。平戸市の現状を見ると、食、歴史、自然、景観などある程度揃ってはいるが、これといった特化したイメージやコンテンツが不足しており、他の観光地との差別化ができていないという意見をよく聞く。先日、旅行者が来た際、「平戸市が何を売りたいのか、イメージしているのかわからない」という意見をいただいた。今後は、「日本一」「日</p>

<p>委員</p>	<p>本初」というような具体的なところを訴えていき、それを観光のテーマとして売り出していこうということで、あえてこの表現にさせてもらった。</p> <p>基本的な方向性には異論が無いが、言葉使いなどで質問がある。質問の趣旨は、この計画は市民の方々に読んでもらうので、そういった観点からのものである。</p> <p>まず資料6のDMOだが、DMOという単語について日本語の表現が無くても大丈夫なのか、と感じた。</p> <p>次に資料7の施策1、「旅まえ・旅なか・旅あと」という表現は、このまま使えば印象は強いと思うが、どういう意味なのか、という簡潔な説明があれば共感が得られるのではないかと思う。</p> <p>同じく資料7の「施策2 ユニバーサルツーリズム観光を推進する」であるが、主な取組みの①～③は、個別に見ると「確かにそうだ」となるが、内容として漏れやダブリがあるのではないかと心配するので、検討をお願いしたい。また、④のストレスフリーは誰にとってのストレスフリーかとなる。ここを見ればインバウンド関係だとは思いますが、検討をお願いしたい。</p> <p>次に、資料8の「施策1 テーマ観光を推進する」であるが、主な取組みにカタカナが多いので、大丈夫なのかと感じた。例えば「アクティビティ」というのは観光事業者にとっては当然の言葉であるが、市民にとってどうなのか、と思った。また、③に「観光ガイドの育成」とあるが、一方で資料7の施策1の主な取組みで「観光コンシェルジュの育成」とある。仕事の内容が違う部分もあるが、同じではないかという印象が出てこないか、ということがあるので整理してはどうかと思う。</p> <p>次に資料8の中で、内容が悪いというわけではなく煮詰めてほしいというところがあって、施策2の文章の後半で「観光客のリピーター率の向上を図り、定住人口の拡大につなげていきます」とあり、一方で主な取組みに「安心安全な観光地基盤づくりの推進」が挙げられているが、つながりがあるようで案配が悪いと思う。異存は無いのだが、すり合わ</p>
-----------	--

	<p>せをしたほうがいいと思う。</p> <p>同じく資料8の施策3で、主な取組みで「③観光関連事業者のスキルアップの推進」とあるが、スキルアップの前に「さらなる」という言葉を入れた方がよい。</p> <p>次に資料9の「平戸市の未来」だが、「グローバル」という言葉がもう少し後ろに配置された方がよいと思う。現状のままだと、平戸市民の方々が世界のいろいろな場所の観光情報を手に入れる、というように捉えられなくもないと思う。ここでは、インバウンドの方々が平戸の観光情報を取りやすくする、ということを行っているのだと思うが、そうであれば表現の検討をお願いしたい。</p> <p>次に資料10の施策1で、主な取組みの「①海外に向けての情報発信の強化」であるが、ここはあえて具体的なターゲットを示したほうがよいのではないかと考える。そうすることによって、市民の方々にも「私たちも情報発信しなければ」と思ってもらえるのではないかと。したがって、具体的な国や地域、中国語や韓国語、英語が多いとは思いますが、そこを念頭に置いて書いてもいいのではないかと感じる。</p> <p>最後に資料14の「施策2 選ばれるためのシティプロモーション」であるが、繰り返すが市民の方々に読んでもらう計画なので、誰に選ばれるというのを具体的に示したほうがいいのではないかと感じる。</p> <p>委員 DMOなどの英語やカタカナ用語については、注釈を入れるように考えている。計画書のサイズをA4、A5いずれにするのか、という部分にも関わってくるが、ページの横あるいは下段に表すのか、別ページにするのかは検討中である。</p> <p>委員 資料14の「平戸市のいま」で、「交流人口等の拡大による地域や地場産業の活性化が求められています」とあるが、平戸市にあっては交流人口が全てに関わってくるので、もう少し具体的に、ポイントとかイメージを示すことができないかと思う。</p> <p>さきほど意見があった「そこそこ観光」についても、言っていること</p>
--	--

	<p>はわかるが、主な取組みとして「日本一、日本初事業の創出」とあるものの中々難しいと思う。表現は慎重に考えた方がよい。</p>
委員	<p>資料6のやるばい指標に「入込み観光客数」があるが、ここの現況値と、資料9の「宿泊客数」と「日帰り客数」の合計と一致しないのはなぜなのか。</p>
事務局	<p>観光統計で「入込み観光客数」を出す場合、「宿泊客数」に1.5倍し、それに「日帰り客数」を足したものとなる。</p>
部会長	<p>数字が合わなくていいのか、という質問をしている。</p>
委員	<p>宿泊客数は実数だから、1.5倍するというのがわからない。</p>
事務局	<p>観光統計でも、宿泊客延滞在数ということで、実数である宿泊客数に1.5を乗じており、その数字に日帰り客数を足して入込み観光客数としている。</p>
委員	<p>一桁まで出ているから、ここが「人数」なのか「泊数」なのかで変わってくると思う。そこの根拠を示し、不信感を抱かれないようにしたほうがよい。</p>
事務局	<p>同じ方が二泊した場合、資料9の宿泊客数は「2」となるので、ここは延べ人数である。</p>
部会長	<p>次回までの宿題として、検討していただきたい。</p>
委員	<p>資料8の施策2の文章中、「観光客のリピーター率の向上を図り、定住人口の拡大につなげていきます」とあるが、ここの部分の主な取組みが書かれていないと思う。文章の結びに「定住人口の拡大」とあるが、</p>

	<p>主な取組みに反映されていないのではないか。</p> <p>また、私も「そこそこ観光」という箇所が気になっていて、文章に「十分に生かしきれていない本市独自の観光素材」とあるが、今あるものに磨きをかけるのか、あるいは新たな観光資源を見つけていくのか。これまで観光協会、観光課が十分ががんばってきている中で、ここは気になる。</p> <p>次に、資料12の「平戸学」で、私が思うに小学生の頃から平戸の歴史と文化について、余った時間でもいいので教えられないか。それによって将来、自分の家を継ぐとか、農業・漁業をする、といった後継者育成にもつながっていくのではないかと思う。今後の人材確保・後継者育成のためにも、小学校の頃から、先生たちをお願いして少しの時間でいいので、歴史・文化・産業のお話をしていただければ将来につながるのではないかと思う。</p>
事務局	<p>「平戸学」であるが、ここに書き込みは無いが教育の方で書き込みがなされている。</p>
委員	<p>資料6の「施策2 広域連携を推進する」で、主な取組みとして「①世界遺産登録による観光ルート形成」とあるが、12の構成資産のうち2つは平戸市にあるが、中江ノ島は上陸できないし、春日は地域で頑張っているがPRの方向その他で難しい部分がある。周遊観光や全島観光に結び付けないと新しい観光ルートの造成は難しいと思う。資源は平戸島の中南部や、生月、田平、大島にもあり、観光客の目線で早めに造成しないとダメではないかと思う。中江ノ島や春日にだけスポットを当てるのではなく、平戸市全体にスポットを当てることによって、世界遺産登録に私たちも関係する、と思うようになり、市民の世界遺産登録に対する意識も高まると思う。時間が無い中ではあるが、皆さんの意見を聞きながらルート形成を行っていただきたいと思う。</p>
事務局	<p>委員の意見は持ち帰らせていただき、次回までに整理する。</p>

委員	<p>「そこそこ観光」については、旅行業者も指摘していたということなので、鍵カッコをつけてはどうか。このままの表現だと、平戸市全体、あるいは観光課全体が「そこそこ」と考えていると捉えかねられない。</p> <p>また、資料3の施策2の主な取組みで、「④地元高校生を対象とした地場企業見学会の開催」に、中学生を加えてもよいのではないかと感じたので、検討いただきたい。</p>
----	--